

組込み系ソフトウェア・ワークショップ2009

組込み系ソフトウェア開発をスピードアップ

～組込み系ソフトウェア開発のキモは何か？ 組込み開発に影響を及ぼす多様な特性とは？～

■主催：ソフトウェア事業委員会 ソフトウェア事業基盤専門委員会

■担当部署：インダストリ・システム部

■参加者数：約120名

概要

ソフトウェア事業委員会に設置されているソフトウェア事業基盤専門委員会では、我が国の強みの源泉であり、価値創出のキーであると言われている「組込み機器のソフトウェア（組込み系ソフトウェア）」に焦点を当て、この分野での開発力向上等の基盤強化のための活動に取り組んでいます。昨年度（2008年度）は、大規模化・複雑化・短納期化・多機種化する開発現場の課題や今後の方向性等について、提言を行いました。今回のワークショップは「組込み系ソフトウェア開発のキモは何か？」と題して、組込み機器／システムのソフトウェア開発におけるキモ（肝要な部分、押さえておくべき部分）とは何であるかについて明らかにしていくことといたしました。

兵庫県立大学 経営学部 立本博文 准教授による「組込みソフトウェアと国際競争力」と銘打った基調講演を皮切りに、三菱電機（株）真野哲也氏から「三菱電機における組込みソフトウェア開発力強化活動」、（株）日立製作所 鍵政豊彦氏より「日立グループにおける組込みソ

フトウェア開発力強化の取組み」、パナソニック（株）中川雅通氏より「パナソニックにおける組込みソフトウェア開発力強化の取組み」について講演頂き、最後に「全員参加101人ワークショップ：インテグラルとモジュラー、果たして組込み系ソフトウェア開発の目指す姿は？」と銘打った討論セッションで、会場全員の方が参加し、「ソフトウェア開発のキモ」について活発な意見交換を行いました。当日の会場では、ソフトウェア開発のキモについて①人間性（コミュニケーション・協調性・リーダーシップ）、②アーキテクチャ設計の重要性、③非機能要件の実現といった意見が挙げられました。当日の参加者アンケートでも、「現場レベルでの意見を聞くことができ、たいへん参考になりました。是非来年も開催してほしい」といった感想が寄せられており、組込みソフトウェア関係者の意見交換・情報交換の場として継続していく意義を感じつつ、今回のワークショップを終えました。

プログラム

- 「ソフトウェア事業基盤専門委員会の活動について」
五味 弘 氏（OKIソフトウェア（株））
- 「ワークショップ2009の狙いと課題認識」
春名修介 氏（パナソニック（株））
- 「組込みソフトウェアと国際競争力」
立本博文 氏（兵庫県立大学）
- 「三菱電機における組込みソフトウェア開発力強化活動」
真野哲也 氏（三菱電機（株））
- 「日立グループにおける組込みソフトウェア開発力強化の取組み」
鍵政豊彦 氏（（株）日立製作所）
- 「パナソニックにおける組込みソフトウェア開発力強化の取組み」
中川雅通 氏（パナソニック（株））
- 「全員参加101人ワークショップ
ーインテグラルとモジュラー、果たして組込み系ソフトウェア開発の目指す姿は？ー」

